

テーマ 子育て親育て

コーディネーター；野老 真理子

淑徳大学社会福祉学部卒業後、大里綜合管理株式会社に入社。1992年、代表取締役役に就任、現在に至る。1994年、学童保育を始める。2007年、NPO 法人大里学童 KBA スクールになり、理事長に就任。子連れ出勤のできる会社としてNHKに紹介される。また、その他社員とともに70の地域貢献活動に取り組む。

2007年、親業インストラクターの資格取得。

2008年、千葉県より、男女共同参画事業でイケヤジャパンとともに表彰される。

パネリスト

丸田 光男

千葉県公立高校で37年間教職勤務。理科・農業を教える。この間「生徒の目線にたった生徒のための教育を目標」に指導を実践。2005年3月定年退職後、嘱託で2年間勤務。2006年4月より、私財をはたいて、学童保育「ぬく森くらぶ」を立ち上げ、現在2年目が終わろうとしている。すべての運営と子供の指導を、父母の協力を得ながら夫婦2人で行っている。

環境を大事にし、自然が好きな思いやりのある子供に育ててほしいと、ボランティアで運営している。

鵜澤 司子

増穂北小学校 PTA 時代、読み聞かせの会「おはなしあのね」を創設、町内の小学校では初めて地域ボランティアの参加を実践。現在も朝の読み聞かせに通う。

2003年、公文が発足させた「増穂の地域教育を考える会」に参加、2年後地域に根付かせるため公文から譲り受け代表となり、現在に至る。

大網白里町放課後子どもプラン運営委員会委員。食育指導士の資格取得、現在服部幸應監修の食育インストラクター養成講座にてインストラクターの資格取得に向け勉強中。

白石 孝昭

1968年、民間会社に就職。1973年退職。同年大網白里町役場に採用。ガス・水道事業課を皮切りに、山武郡市広域水道企業団、税務課、山武郡南病院、町長公室、大網病院、福祉課などを経て2003年から教育委員会生涯学習課勤務、現在に至る。1999年、大網白里町社会福祉協議会増穂支部理事に、また2005年から保護司となる。

蔭山 絹子

大網白里町生涯学習課 家庭教育指導員

長らく千葉市公立中学校教員を務め、2007年3月退職。同年4月より現職、家庭教育学級の事業を担当、現在に至る。

平野 由美子

ハンディキャップのある子の居場所造りの会「シェイクハンズ」代表。知的障害のある中学生の子育て中。日本グッド・トイ委員会、芸術教育研究所・おもちゃ美術館主催のおもちゃコンサルタントの資格取得

橋本 久栄

子どもを通して大里学童と出会い、2007年大里綜合管理株式会社に就職。同時に、NPO 法人大里学童 KBA スクール監事となる。養護教諭の資格を持つ。

増穂の地域教育を考える会 について

増穂の未来を造る子どもたちを、地域みんなで守り育てるために、できることは何かを考え、地域のつながりを大切に、活動しています。

これまでの主な活動

「みんなでトイレ掃除」の実施
夏休みのラジオ体操の実施
講演会の開催 去年は「環境ホルモンの不安」
普通救命講座を開く
秋津コミュニティの見学会の実施
など

♪みんなの夢のお手伝いをします

地域のみんで、こんなことしたいあんなことできたらという考えをお持ちの方、ご意見をお寄せください。
一緒に夢を実現させましょう！！

♪定例会のご案内

毎月第三土曜日 午後14:00～

中村自動車内 ミセスの家にて

遊びに来てくださいね。お待ちしております！！

平成20年3月16日（日）

主催 増穂の地域教育を考える会

後援 大網白里町教育委員会